

## 2022年度 FD講演会・FDワークショップ要旨

日時：2023年3月7日（火）10:50～12:30

場所：オンライン

### 1. 開会

柘植副学長（FD担当）

・本ワークショップの目的は、FD活動の活性化のために、各学部・研究科独自の取り組みを共有することである。

・各学部・研究科の発表に加え、委員長が選出した先進的なFD活動の取り組みの報告を国際経営学科に発表いただく。

### 2. FD関連補助の活用事例報告

・各学部・研究科、発表5分、その後に質疑応答5分程度で、報告が行われた

#### 1) 国際学部

テーマ：「EMIのチャレンジ English as a Medium of Instruction

（教育媒体としての英語）を実践するFD」

発表者：国際キャリア学科主任 GILL Thomas Paramor 先生

英語を教育媒体として使用する(EMI)テーマで発表を行った。教育の質を高めるために、教員が教え方についての訓練を受ける必要性を強調した。イギリスでは、教員は専門的な訓練を受けるが、日本ではそういった訓練を受けていないことが多いと指摘されている。また、教員がその科目を知っていることと、それを教える能力があることは必ずしも同じではないと言われている。

EMIにおいては、学生が教員の話す内容を理解しているかどうかを頻繁に確認すること、アクティブでインタラクティブな授業を行うことの重要性を説いた。教員は、簡潔な文を使い、重要なポイントを明確に強調し、ビジュアルエイド（視覚教材）やスカッフオルディング（課題を完成させるための一時的な補助）などのテクニックを用いるべきなどの説明があった。

#### 2) 国際学専攻

テーマ：「論文作成指導の試行錯誤」

発表者：国際学専攻主任 平山 恵 先生

大学院生の研究指導において、全授業の指導内容の調整をする必要があるのではないかと問題意識のもとに本活動を行った。因果関係の分析の研究において、検証が足りない事例や、リサーチクエスションが絞られていない事例などが報告された。

また、卒論を執筆していない学生への特別な対応の必要性や、研究科での退職教員の活用などの提案があった。

### 3) 教養教育センター

テーマ：「教養教育センター 外国語教育部門 FD 研修会についての報告」

発表者：教養教育センター 外国語教育部門主任 高桑 光徳 先生

これまでの外国語教育部門のFD活動は、主に特定の言語（英語、フランス語、ドイツ語など）に特化し、その言語の専門家に講演を依頼する傾向であったが、今回は、どの言語にも共通する事項を対象とすべく、講師に群馬大学の飯島 睦美先生をお招きし、インクルーシブ教育についての研修を行った。障害を持つ学生に対するインクルーシブなアプローチを共有することができた。

## 3. 委員長選出 FD 活動事例報告

### 国際経営学科

テーマ：「国際経営学科ルーブリックについて」

発表者：国際経営学科主任 渥美 利弘 先生

国際経営学科では、学習到達度を示すために「ルーブリック」という評価基準を導入した。この基準は、観点と尺度からなる表で表され、学生の学習の進捗を明確に評価することを目的としている。経済学や経営学に関する知識、英語のスキルなどを4段階の尺度で評価する。本評価システムは、学生と教員の双方にメリットがあり、学生は自身の学習レベルを客観的に把握し、教員は学生の学習到達度をより明確に評価できる。

初年度実施の分析結果では、経済学や経営学の初歩的な知識の理解や、英語のプレゼンテーションスキルの向上などが見られた。今後の教育方針やカリキュラムの改善に役立てたい。

## 4. 閉会

柘植副学長（FD 担当）

- ・これからも各学部・研究科の取り組みを共有する取り組みを続けていきたい。
- ・次年度も協力をお願いしたい。